

# 令和6年度球磨清流学園部活動規定

## 1 目 標

規律と友愛に満ちた集団の中でお互いが活動を行い、より高度な技術を身に付けるとともに、たくましい体力と精神力を養い、社会性を育て、心身ともに健康な人間育成を目指す。

## 2 指導方針

- (1) 全人教育の立場において、部員の身体・精神面・生活面に対して指導助言をする。
- (2) スポーツマンシップの向上に努める。
- (3) 能率的かつ効果的な練習方法や内容を指導する。
- (4) 部員の健康管理と安全対策に十分留意し、適切な指導・助言をする。
- (5) 学習と部活動との両立を図るよう、特段の留意をする。

## 3 施設・用具の管理

- (1) 練習場所の使用については、他の部との関係も考慮し、限られた範囲内で安全に練習できるように指導する。
- (2) 施設・用具の使い方・管理の仕方については、安全面に十分留意するように指導する。

## 4 活動における留意点

- (1) 学校主体に運営する。
- (2) 部長は教諭及び講師とし、部の運営は年間を通じて実施し、年間（月・週）計画・経費の徴収や支出・大会出場計画（引率計画）・練習試合参加計画の作成を行う。
- (3) 部長は、前月末までに次の月の練習計画書を作成し、校長の承認を受ける。
- (4) 教員不在の場合は活動を中止する。ただし、他の部の指導者に依頼するならば、その限りでない。その場合、無理な練習は避け、事故のないように心がけ練習内容を考える。ただし、教員が不在の場合の試合（練習試合を含む試合）には出場しない。
- (5) 各部の競技会・大会等への参加は、教育的配慮のもと各部の計画によりできるただし、中学生であることを踏まえて、勉学に支障がないように配慮する。
- (6) 部長は、大会名、主催者、期日、会場、引率者等を明記した計画書を大会3日前までに校長に提出し承認を得る。
- (7) 試合及び練習試合等の移動範囲は、原則県域内とする。また、県大会への参加は中体連主催大会1回、共催大会2回程度とする。
- (8) 県外の試合や練習試合については隣接市町村とする。出場する場合は、校長の許可を得る。
- (9) 生徒の発育発達の状況を考慮し、大会参加は月2回まで（中体連主催大会を除く）とし、練習試合は月に3回以内とする。
- (10) 練習等に当たっては、担任・生徒指導部・部顧問教師で指導し、連絡を密にする。

## 5 活動期間及び活動時間

- (1) 活動時間は、月別スクールバス下校時刻に間に合うように設定する。活動時間は、スクールバス発車時刻の20分前までとする。

期 間	活 動 時 間	バス時刻（月～金）
4月～6月	17：40	18：00
7月～11月	17：20	17：40
12月～1月	16：55	17：15
2月、3月	17：20	17：40

- (2) 毎週水曜日をノー部活デーとする。
- (3) 週休日においては、土曜または日曜のいずれかの活動とし、もう一日は休養日に充てる。しかし、対外試合等でそれが不可能な場合は、校長の許可を得て活動できるが、週明けの月曜日を休養日に充てなければならない。また、第1日曜日は完全休養日とする。
- (4) 定期テスト3日前から期間中（最終日は除く）は、活動を中止し、休養と勉学に力を入れることを原則とする。ただし、定期テスト中あるいはテスト後に大会（中体連主催・共催）を控えている場合は、校長の承認を得れば活動できる。
- (5) 休日の活動時間については長くとも3時間程度とするとともに、午前または午後のみのものでいずれかの活動とし、昼食時間をはさまないようにする。しかし、対外試合、合宿についてはその限りではない。
- (6) 延長練習は、大会（中体連主催または共催）の1ヶ月前から、2週間程度校長の承認を受けて行ってもよい。ただし、11月から2月は、中体連主催または共催の大会でなくても行う

ことができる。その場合は、延長練習願いを提出し、生徒の健康安全を考え、平日の練習時間（長くとも2時間程度）を考慮した計画的な練習を行うこと。

- (7) 中学生に関わる村の行事の時には、練習や練習試合を入れない。
- (8) 練習時間を厳守する（学活終了時刻の厳守）。放課後の居残り等は、なるべく行わない。
- (9) 長期休業中の部活動については別途計画をする。ただし、長期休業の意義をふまえ、ある程度まとまった休養日（オフシーズン）を設ける。
- (10) 活動は、年間計画に基づいて行う。

## 6 設置する部

部活動として、次の各部をおく。ただし部の設置及び廃止は校長が定める。

1	野球	2	ソフトテニス	3	バレーボール	4	ソフトボール
5	剣道	6	バドミントン	7	清流クラブ		

## 7 部の新設置について

次の（1）～（4）の条件を満たすものについて、顧問会議で承認を得て、校長が設置を決定する。

- (1) 中学校で行う活動として、ふさわしい部であること。
- (2) 顧問となる教職員がいること。
- (3) 活動に必要な最低人数が入部を希望し、その人数に継続性があること。
- (4) 施設・設備等が、現在活動している部活動と調整が付くこと。

## 8 部の休部・廃部について

次の（1）～（3）の条件にあたるものは休部・廃部を、職員会議（顧問会議）で承認を得て、校長が決定する。

- (1) 顧問となる教員が不在または、いずれかの学年に部員がない場合は、休部について検討する。
- (2) 夏季中体連大会または、メインの発表会后、その競技、発表の人数（指定した人数）に満たない部は、合同チームや休部についても検討する。年度当初から2年間継続して指定した人数に満たない場合は、次年度の新人部員の募集を停止する。募集停止決定後も現部員が引退するまで部活動の運営を保障し、夏季中体連大会またはメインの発表会が終了した時点で「廃部」とする。
- (3) 個人競技の部については、（2）の条件および団体戦等と照らし合わせて別途検討する。
- (4) 競技によって社会体育への移行が可能な場合は、上記の規定を満たすことなく、別途検討会議を開き、移行を進める。

## 9 入部手続きについて

- (1) 入部については、年度初めに「球磨清流学園部活動の入部について」に従って手続きを行う。
- (2) 原則として全員いずれかの部活動に入部することとする。ただし、やむを得ない理由がある場合は、担任と教育相談を行い、その理由が妥当と認められれば、入部しないこともできる。その決定は校長が行う。
- (3) 原則として3年間は同じ部で活動することとする。ただし、やむを得ない理由がある場合は、担任及び部活動担当と教育相談を行い、その理由が妥当と認められれば、転部できる。その決定は校長が行う。
- (4) 7年生は、野球・ソフトテニス・バドミントン・剣道・清流クラブの5種目から部活動を選択する。8、9年生は、野球・ソフトテニス・剣道・ソフトボール・バレーボールの5種目から部活動を選択する。ただし、8、9年生の部活動未加入の者で野球・ソフトテニス・バドミントン・剣道・清流クラブに入部を希望する場合は、担任及び部活動担当と教育相談を行い、その理由が妥当と認められれば、入部できる。その決定は校長が行う。
- (5) 新入生の部活動体験入部期間を、4月12日（金）から4月18日（木）までとする。体験入部期間中は、各部活動担当の指示に従うものとする。
- (6) 入部届の締め切りを、4月19日（金）までとする。

## 10 部活動に関する生徒心得

- (1) 課題を持って、毎日の練習に励もう。
- (2) 正々堂々とプレイし、最後まで頑張ろう。
- (3) わがまましたり卑屈になつたりしないで、チームのことを考えてプレイしよう。
- (4) 指導者の指示・指導に従い、主将を助け、行動面に自覚を持とう。
- (5) 先輩・後輩の間柄をよくわきまえ（先輩らしく、後輩らしく）、行動しよう。

- (6) 勝っても負けても反省しよう。
- (7) 準備運動・練習方法・内容・整理運動・後始末をきちんとしよう。
- (8) 安全のための用具・器具・活動場所などの点検をし、破損は速やかに届けよう。
- (9) 部活動はみんなが楽しく、協力しあって行うものであり、一部の人だけが恩恵を受けることのないように、みんなのための練習や運営をするように工夫しよう。
- (10) 決められた事柄や学校のきまりなどはきちんと守ろう。
- (11) 試合などでは、判定が間違っている場合でも感情を表に出したりしないで、気持ちよく判定に従う余裕を持とう。
- (12) 本校の部活動の良い伝統や習慣を築き上げていこう、お互いが自覚し、責任を持って着実に足跡を残すように努力しよう。
- (13) 練習は部長の指示した場所で、指示に従ってしよう。
- (14) 原則として、3年間は同じ部で活動します。

#### 1 1 その他

- (1) スクールバスの使用については、中体連主催大会のみ使用できる。使用の際は別紙「ワゴン車・スクールバス部活動に関する申し合わせ事項」を参照すること。また、届け出は、ワゴン車・スクールバスとも1週間前までにスクールバス使用届に記入し提出する。ただし公式試合・練習試合についてはワゴン車のみとする。
- (2) 中体連申し合わせ事項及び規定に触れる行為を行った場合は、活動を1週間停止する。ただし、その対応については、校長・教頭・部活動主任・該当部活動担当・生徒指導主事・担任で協議し、決定する。
- (3) 大会出場に必要な個人情報（校名、学年、氏名、その他競技に必要な事項）については大会出場の要件とする。